

2019年度看護実践研究会
演題募集要項（再）

1. 申込資格

- 1) 発表者は、2019年度兵庫県看護協会会員に限りませう。
- 2) 共同研究者の看護職者は、2019年度兵庫県看護協会会員に限りませう。（他職種の場合は、この限りではありませう。）

2. 募集演題について

1) 部門

次の2部門において演題募集を行います。

＊研究報告部門

日々の看護実践の中から、研究的に取り組んだものについて発表する。

＊実践報告部門

日々の看護実践の中から、その手段や得られた成果について発表する。

2) 発表形式

- ・両部門とも、口演発表、示説発表のどちらかを選択して発表することになります。
- ・口演発表は、スライドを使い口頭で発表します。（使用できる機材はパソコンのみです。）
- ・示説発表は、ポスターの掲示により発表します。指定された30分間ポスター前で待機し、一般参加者と意見交換を行います。（※示説の口述発表は行いませう）
- ・発表時間やスライド・ポスターの作成要領等の詳細については、採否結果通知時にお知らせします。

3. 演題申込について

1) 応募期間

2019年4月15日（月）～6月21日（金）〔必着〕

2) 演題申込先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通5-6-24

兵庫県看護協会教育研修部 看護実践研究会係 宛

郵送もしくは、宅配便で送付願ひます。（FAXではお受けできません。）

3) 提出書類（所定の申込書は当協会HPからダウンロードできます）

(1) 演題申込書（研究会様式1）

(2) 集録原稿 2部（A4用紙 3枚以内 枚数厳守 ※MS明朝で必ず入力してください）

＊1部は「印刷用（原本）」、もう1部は「選考用」です。「選考用」の原稿は、**応募者が特定できないよう、発表者と共同研究者全員の所属と氏名の部分だけを消去してください。**

(3) 演題応募チェックリスト（研究会様式2）

4) 提出にあたっての注意事項

- (1) 封筒の表書きには、「**看護実践研究会 演題申込書類在中**」と朱書きしてください。
- (2) 提出書類が折れないように、台紙を入れるなどの工夫をして送付してください。
- (3) 提出された原稿は採否にかかわらずお返しいたしませんのでご承知おきください。
- (4) 下記の場合は、受理できませんので、ご確認ください。
 - ・発表者が2019年度兵庫県看護協会会員でないもの
 - ・他の学会や雑誌の紙面で発表予定のもの（投稿中も含む）、もしくはすでに発表されたもの（施設内発表および兵庫県看護協会支部での発表は可）
 - ・原則として受付期間外に届いたもの
 - ・送付書類に不備や不足のあるもの
 - ・集録原稿が指定された書式に則って作成されていないもの

4. 集録原稿作成方法

- 1) 書式は、A4版横書きで、パソコンまたはワープロを使用し、4400字以内（A4用紙3枚以内、表題・資料・図表・引用文献も含める）で作成してください。書体、文字サイズも指定がありますので、別紙「集録見本」をご参照ください。（当協会ホームページより書式フォームをダウンロードできます。：トップページ <https://www.hna.or.jp>→教育研修→看護実践研究会）
- 2) 研究報告の場合、原則として「目的、方法、結果、考察」を記述してください。
- 3) 実践報告の場合、実践内容がわかるように具体的に記載してください。
- 4) 文献については、以下の要領で記載してください。

引用文献は引用順に本文の引用箇所の肩に^{1) 2)}と番号をつけ、本文原稿の最後に一括して引用番号順に記載する。

- (1) 文献は次のように記載する。

[雑誌掲載論文] 著者名：表題名、雑誌名、巻(号)、頁、発行年(西暦年次)。

[単行本] 著者名：書名(版)、発行所、頁、発行年(西暦年次)。

著者名：表題名、編者名、書名(版)、発行所、頁、発行年(西暦年次)。

[翻訳書] 原著者名：書名(版)、発行年、訳者名、書名(版)、発行所、頁、発行年(西暦年次)。

[電子文献] 著者名：表題名、雑誌名、巻(号)、頁、発行年(西暦年次)、アクセス年月日、URL、発行機関名(調査/発行年次)、表題、アクセス年月日、URL。

※公的機関から提供される情報(統計、法令等)、電子ジャーナルのみを対象とする

- (2) 文献の共著者は3人まで標記し、それ以外はその他とする。

- 5) 査読基準を兵庫県看護協会ホームページに掲載しますので、参考にしてください。

5. 倫理的配慮について

- 1) 「人」を対象とした研究や実践報告の場合、対象者に対して下記(1)～(6)のような倫理的配慮を行ってください。また、日本看護学会ホームページに記載されている「倫理的配慮とその記述に関する留意点」の内容に抵触しないことを確認のうえ、演題申込をしてください。

(https://www.nurse.or.jp/nursing/education/gakkai/happyo/pdf/50_rinri_kijyutu.pdf)

- (1) 研究目的や報告内容を正しく説明し、対象者となることへの承諾を得て実施したこと。
 - (2) いったん研究参加を承諾した場合でも、途中で中止を申し出ることの権利を保障したこと。
 - (3) 対象者のプライバシーに十分配慮して、研究を実施したこと。
 - (4) 個人情報の取り扱いには十分注意を払い、知りえた情報を研究目的以外の用途で使用しなかったこと。
 - (5) 研究への参加によって、対象者に不利益や負担が生じないように配慮したこと。
 - (6) 研究結果を公表することについて対象者に説明をし、承諾を得たこと。
- 2) 集録の記述内容から、個人が特定されないよう、研究フィールドや施設の表記に配慮してください。特に以下の点には注意してください。
 - (1) 固有名詞を使用しない。「当院」「当病棟」などの表記もしないこと。
 - (2) 写真などを記載する場合は、研究結果を示すのにどうしても必要な場合のみに限定し、本人に掲載の承諾を得ること。
 - 3) 文献から図・表や本文を引用する場合は、著作権に配慮し、出典を明記してください。
 - 4) 既存の尺度を使用する場合は、尺度の作成者から承諾を得た旨を集録原稿に明記するか、あるいは、その出典を明記してください。

6. 結果の通知

- 1) 演題の採否は、兵庫県看護協会看護実践研究会企画委員会が定めた査読基準に基づく査読を経て決定します。採否結果は、演題申込者(発表者)本人宛に通知します。
- 2) 査読に関しては、倫理的配慮がなされているかという点を最も重視します。上記5の内容を遵守してください。
- 3) 査読の結果、修正を求めることがありますがその場合には指摘された点を再考・修正のうえ、指定された期日までに原稿の再提出をしてください。
- 4) 看護実践研究会企画委員会では、採用された応募演題の研究報告もしくは実践報告としての発表成果が上がるよう、できる限りのサポートをおこなっていきます。